

なにわ名物って、モノ・コトいっぱいあるけどやっぱヒトとちゃう？



# なにわ名物 NEWS

2018年9月発行

| な | に | わ | 名 | 物 | 開 | 発 | 研 | 究 | 会 |

2018-No.3

発行：なにわ名物開発研究会

## 平成最後のなにわ大賞！最後にみんなで大笑い!!



21回目となる今年は、年明けから運営委員会を結成し、準備を重ねて参りました。昨年（20回）を機に長きに渉り選考委員長をお務め頂きました難波利三先生（直木賞作家）に代わり、森一貫先生（帝塚山学院大学名誉教授）が新たに委員長となりました。7月28日（なにわの日）に恒例の贈呈（も〜て〜）式を開催。今年は初めて大阪市内を飛び出し、東大阪役所1Fロビーで行われました。受賞者は以下の通り。



中東弘宮司

**【大賞】 枚岡神社 中東弘宮司**

**【準大賞】 工場写真の川勝親様**

**【準大賞】 なにわ語り部の会**



東大阪ならではのトロフィーも

- (公財)大阪観光局長特別賞 大阪まちプロデュース
- (公財)関西・大阪21世紀協会賞 4mロボットプロジェクト
- 東大阪市長特別賞 西川梅十三
- なにわの匠特別賞 金剛組 匠会
- さわかかエイジ特別賞 大阪城南女子短期大学 ミュージカル隊
- なにわの虹特別賞 にじいろのネジプロジェクト



東大阪役所 1F ロビーの特設会場

今回は選考委員に野田義和市長も御参加いただきました。贈呈式は大賞受賞の中東宮司の高笑いとともに閉幕。好例の懇親会は市庁舎楼上の展望レストランスカイラウンジ22にて開催、大いに盛り上がりました。



スカイラウンジ 22 にて懇親会



## な 総 会

平成 30 年度「なにわ名物開発研究会」の定時総会が 5 月 25 日（金）大阪市中央区の高津宮で開催されました。総会に先立って会の発展を祈願して特別参拝を執り行いました。第 1 部総会は大津宮の「芙蓉の間」で 29 年度の事業・会計報告、監査報告に引き続き、30 年度の役員変更報告、事業計画案、収支予算案の報告をして滞りなく閉会いたしました。続いて「末広の間」で第 2 部記念講演会として有限会社セメントプロデュースデザイン代表の金谷勉氏に「デザインと製造業との共創を生む」というテーマで「経営理念を実現していくための 6 つの考動」、「企業のマーケティングのディレクション」、「各地の町工場や職人との協業プロジェクト」などを中心に製品や店舗の実例を紹介しながら、わが街大阪へのレガシーと明日への提案をお話していただきました。同時に金谷氏の著書「小さな企業が生き残る」も会場で販売していただきました。最後に第 3 部ネットワークパーティを開催して参加された皆様の交流と PR タイムで皆さんの活動を宣伝していただきました。



講演会の様子（右上が金谷氏）

山口義博

## な 6月特別例会

昨日なにわ名物開発研究会の 6 月特別例会「難波先生、あんたはえらい！」難波利三先生に感謝を贈る会”が道頓堀ホテルで開催されました。難波利三先生（直木賞作家）は、平成 10 年に第 1 回が始まって今年で 21 回目を迎えた「なにわ大賞」、昨年まで 20 年にわたって選考委員長として選考委員会を取りまとめていただき、昨年 20 回を機に選考委員長を勇退されました。そこで今回後任の森一貫新選考委員長から「難波先生、あんたはえらい！」と感謝状をお贈りして、また今までの受賞者も多く駆けつけていただき「あんたはえらい！」の大合唱で 20 年間にわたる感謝の気持ちをお贈りいたしました。歴代の受賞者のお言葉と林幸次郎さん率いる東西屋チンドン一行のハプニング訪問や南京玉すだれの天笠たかしさんの演技も先生への素晴らしい贈り物だったと思います。最後に旭堂南陵師匠の大阪締めで会を終了いたしました。

山口義博



花束を手に笑顔の難波先生



「あんたはえらい！」チンドン屋さんのサプライズが！

## な サマーパーティ

なにわ名物開発研究会の 8 月度特別例会が東大阪市石切のホテルセイリュウで 8 月 29 日に行われ、なにわ大賞受賞者を囲んで、サマーパーティとして盛り上がりました。野村会長挨拶の後、なにわ大賞を受賞された枚岡神社の中東弘宮司から枚岡神社で毎年 12 月 23 日に執り行われている「お笑い神事」についてテレビの神社紹介の動画を見ながら講話していただきました。続いて準大賞を受賞された工場写真の川勝親様に撮影された写真を見ながらお話をいただき、最後に東大阪市長賞を受賞された西川梅十三様に「四季の踊り」をご披露いただきました。そのあと当会会員の森田登代子さんから「北新地の思い出話」をお聞きいただきました。またプロジェクターで当時の写真や映画「大大阪観光」で北陽演舞場の芸妓さんらが登場されるシーンを拝見しました。そのあと懇親会で参加者の懇親をはかりました。最後に特別会員でなにわ大賞選考委員長の森一貫先生に大阪締めの音頭を取っていただいた後、参加者全員で「お笑い神事」の笑ってお開きになりました。

山口義博



豪快に笑う中東宮司



西川梅十三さんの「四季の踊り」

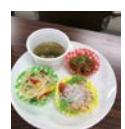
## な 6月特別見学会

中村玉緒さんの宣伝で有名な「マロニー」。もとはモヤシ製造業者ですが今はすっかり大阪を代表する企業です。今回はそのマロニーさんを訪問していただきました。経営理念、商品開発の歴史、地域貢献について（神崎川のグリーンベルト活用など）、工場見学、マロニーを使った料理の試食など心温まるもてなしを受けていろいろと学ばせていただきました。

野村育郎



本社前にて記念撮影



マロニーを使った料理



お馴染みの製品



## ●ビジネス部会

「平成30年度ビジネス部会の企画運営について」

ビジネス部会では現在、部会会議を中心とした運営をしている。会員の声を吸い上げそれをビジネスモデルとしての形にするまでの取り組みである。7月20日の部会会議については、前半、野村証券の西岡さんから大阪府市町村の人口予測と多様化するインバウンドビジネスについての話を聞いた後、先月に引き続いて小野さんによる新世界の北エリアを活性化させるビジネスモデルの立ち上げについての研究を行った。古民家をリノベーションすることによる会場の確保、ワークショップや文化教室の招致、クラウドファンディングなどによるマイクロファイナンスなどを中心に活発な意見が出た。30年度の対外事業をふくめた企画に関しては「繁盛店の見学、研究について」、企業訪問についてはなにわの会員企業、外部の魅力ある元気企業に寄せていただき、その仕組みやマネジメントを学ぶ。また、マインドの高い経営者や各分野の講師を招いての懇話会の開催など9月以降から本格的なビジネス部会の始動についても協議した。地域活性化部会、商品開発部会との連携も視野に入れた活動が期待できる。現在、ビジネス部会はいろいろと模索している。

中井敏博

## ●商品開発部会

7月6日

2018年度第1回商品開発部会を株式会社アドリブで開催いたしました。雑魚寝館うなぎミュージアム&Café館長の亀井哲夫氏から、うなぎの頭(半助)の商品紹介があり、うなぎの頭の佃煮「味噌噌」と「辛味噌」、うなぎの形をした塩パン、うなぎの骨粉が入ったうなぎ煎餅の試食があり、大いに盛り上がりました。この国内産半助の商品をどこで製造し、どのような戦略と販路経路で売っていくか話し合いました。また、中井産業株式会社(豆乳きなこ本舗)社長の中井敏博氏の中から豆乳を使った豆菓子の紹介があり、高級志向で販売するか相談がありました。その後、開屋本舗(ひらきやほんぼ)社長の開田早代様の会社にある機械で野菜や果物などの味と形を残して、水分を飛ばすバキュームフライヤーの紹介をしてもらいました。

8月8日

2018年度第2回商品開発部会を株式会社アドリブで開催いたしました。クラウドファンディングやインバウンド商品の話で盛り上がりました。

中村一三

## ●広報交流部会

今年度は22年前の設立趣旨に沿った事業運営が円滑に出来るように、「広報・交流部会」が新たに設置され、総務室・事務局と連携した部会活動を推進しています。4月から毎月8月まで月1回の部会活動を続けて来ています。広報誌の編集会議を含めて会のコミュニケーションを図る方法の検討や会の事業運営のサポートなどについて総務室・事務局と連携して進めています。この新生広報誌が我々広報交流部会の最初の成果物です。

山口義博

## ●地域活性化部会

「地域活性化部会」は、「まちづくり」や「地域活性化」の活動を実践してまいります。8月は和歌山県田辺市の『秋津野ガルデン』と「ぶどう山椒」を訪ねる旅を行いました。「秋津野ガルデン」は廃校となる小学校を地域住民で買い取り、農家レストランや宿舎、加工品生産などの拠点として運用され、年間6万人、売上げ1億円以上という地域活性化の拠点になります。玉井社長から「地域のことは地域が考える」がポイントとお話をお聞きしました。農家民泊「いなみかえるの宿」に宿泊しました。ここは約50家庭で教育旅行を受け入れておられ、印南町の地域活性化のキーになる団体で、素晴らしいおもてなしで迎えていただきました。今後、会員の行事や「なにわ大賞」受賞団体を訪ねる企画を中心に活動を行いたいと思います。

星乃勝



秋津野ガルデンにて

## ●大阪文化チーム

5月19日になにわ名物開発研究会の大阪文化チームは、OSK[春の踊り]の観劇及び懇親会を開催いたしました。舞台終了後の熱気が冷めぬ中、懇親会ではトップスター高世麻央さん、楊琳さん、舞美りらさん、実花ももさんが駆けつけていただき、大いに盛り上がりました。

山口義博



スターを囲んで贅沢なひととき

## ●うまいもん探検隊チーム

チーム活動事業「なにわ食道楽 うまいもの探検隊」(略して「うまたん」)の古川です。大阪といえど「くだいおれ」と言われるように、食は大阪を考える上で、外すことのできないツールです。また「うまいもん」の話題は、大阪人にとって汲めども尽きぬネタの宝庫です。我が探検隊は飽くなき探究心で、メンバーそれぞれが「こんなお店がおまっせ」と紹介しつつ、互いに蘊蓄をウダウダ言い合うという、まことに健全な集まりです。舌と頭で味わう大阪文化に是非、御参加下さい。

古川武志

## ●観光研究チーム

「観光チーム」では、2ヶ月毎にインバウンドを中心とした勉強会『観光のひろば』として開催しています。6月はJR東海の須田相談役にお越しいただき『これからの日本の観光!』についてお話しいただきました。8月は『関西のインバウンド観光を見つめ直す』～関西は、一つずつ～というシンポジウムを開催しました。関西の中でも、大阪は外国人の増加による経済効果を上げておりますが、神戸は外国人が思ったほど増えず、京都は、外国人が増加し過ぎるオーバーツーリズムの現象が起きています。これらの地域からキーマンにご登壇いただき、本音で語り合うパネルディスカッションを行いました。大阪からは大阪市商店会総連盟理事長の千田様が登壇されました。

星乃勝



## 新人会員紹介

こんにちは。“切り抜き絵”作家の酒井です。“切り抜き絵”と言う名称は、自分で付けた名前、基本的には、黒い紙をカッターで切るという作業は「切り絵」と同じです。

作品展で実演をしていると「細かい作業ですね。一作品を作るのにどのくらい係るのですか」と必ず聞かれます。「大きさにもよりますが、約一ヶ月。」と答えると「こんな細かな作業を続けられる力って何なのですか」と質問され、思わず「笑顔」と。

大阪を題材に現在 61 点を制作。作品展等では、「ここ知ってるわ!」  
「こんな中まで切ってる。信じられへん」「綺麗」等々の声やその時の笑顔に出会う度に「次の作品は」と意欲が湧いてきます。切り抜き絵を始めて、多くの方との出会いがありました。「なにわ準大賞」を戴き、より交流の輪が広がりました。現在制作中の「新なにわ 100 景」を完成させ、もっともっと多くの人の「笑顔」に出会う旅を続けて行きたいと思っています。



酒井 博文氏



見事に表現された大阪城

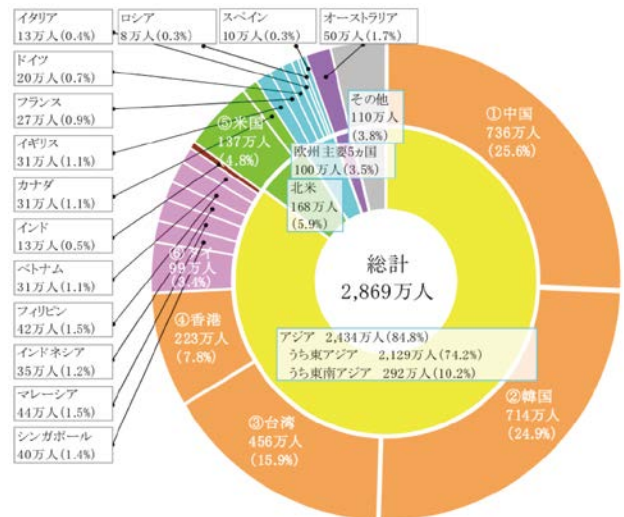
切り抜き絵作家 酒井博文

## インバウンド観光コラム(4回連載)

観光チームリーダー 星乃勝

### <第1回 インバウンドが増えてきた>

皆さん、インバウンドが増えましたね…「心齋橋、歩かれへんがな〜」との声が聞こえてきます。何故、インバウンドが増えたかご存知ですか？ 第1は「円安」で訪日旅行が3割ほど安くなった。第2はインバウンドを増やす政策「ビザの緩和」です。このように伝えると“日本だけの現象”のように思われますが、世界中で海外旅行に行く人が増えています。2016年まで4%増だったのですが、2017年は13億2200万人で6.7%増です。2030年には18億人になると予想されています。しかし「何でアジア人ばかりやねん」。中国、韓国、台湾、香港の順で、アジアが85%を占めます。しかし欧米の観光客も軒並み増えています。ただ絶対数が少ない。「もっと欧米の人に来てもらったら良い」の声も多いのですが、欧米から来るには距離が遠いので、料金も高い。アジア人にとっては、近くて、魅力的な国だから日本に来るという現象なのです。それにしても前年比数10%増の日本は異常で、「ブーム」と言われるゆえんです。



大阪の地域資源を活用し、大阪を活性化。

## なにわ名物開発研究会とは？

なにわ名物開発研究会は、大阪で頑張る「メーカー」「流通」「サービス」「コンサルタント」「クリエイター」など業種・業態、ついに「業」さえも超えたヒト・モノ・コトのネットワーク組織です。毎月の例会を始めとする多彩な行事で、会員間の交流・関係諸団体との交流を図りながら、大阪の活性化を目指しています。

**【正会員】入会金 10,000円・年会費 36,000円 / 【準会員】入会金 5,000円・年会費 18,000円**

Mail : [info@naniwa-meibutsu.com](mailto:info@naniwa-meibutsu.com) URL : <http://www.naniwa-meibutsu.com/>

〒542-0074 大阪市中央区千日前2-11-10 いづもやビル4F TEL:06-6643-3150 FAX:06-6643-3140

**現在新会員を募集中!!**

※詳細は事務局までお問い合わせください。

ええ大人がビジネスも遊びも本気でやっているのが、「なにわ名物開発研究会」の特徳です。

### 編集後記

「なにわ名物開発研究会」の平成30年度の新年度が4月から始まっています。今年は会創設21年を経過して当初の会設立趣旨を共有して多彩・多様な連携を更に深め新たな気持ちで会の運営に取り組んでいます。この広報誌もFacebookやホームページと共に会員の皆様のみならず一般の皆様への活動内容を啓蒙する手段として活用できるように定期的な発行を新設「広報交流部会」で作成して参ります。そしてこの広報誌を通じて当会の意図と活動内容をご理解いただきたく存じます。

事務局長・広報交流部会長 山口義博